

スポット ニュース

主立坑と換気立坑の掘削工事の状況

瑞浪超深地層研究所の主立坑（直径約 6.5 ㍍）と換気立坑（直径約 4.5 ㍍）の掘削工事（深さ約 10～50 ㍍区間）は、主立坑が深さ約 42.5 ㍍、換気立坑が深さ約 45.5 ㍍（8月20日現在）までの掘削および調査を行いました。

換気立坑は予定区間の掘削が終了いたしました。主立坑は引き続き深さ約 50 ㍍まで掘削を行い、9月上旬頃終了する予定です。

今後は深さ約 50 ㍍より深い部分を掘るためのやぐらなどの地上設備の設置などを行っていきます。



瑞浪超深地層研究所の工事の様子

東濃地球科学セミナーの開催

東濃地科学センターでは、第9回東濃地球科学セミナーを下記のとおり開催致します。皆様お誘い合わせの上、足をお運び下さい。

【テーマ】

東海・東南海地震の被害予測

私達の街の被害は？ 防災対策は？

講師：杉戸 ^{すぎと} 真太 ^{まさた} 氏

（岐阜大学教授 流域圏科学研究センター長）

日時：9月23日（木・祝）14:00～15:30

会場：ミュージアム中仙道 多目的ホール



入場無料

用語あれこれ

【硬度2とは？】

前号に引き続きモースの硬度について硬度2をご紹介します。

硬度2で代表的なものは、石膏(せっこう)です。これは、骨折した際に骨折箇所の周りを固めるときに使用したり、石膏を粉にして練り固めて石膏像を制作するのにも使用されています。



写真は石膏石

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】（8月20日現在）

深いボーリング孔の掘削作業および調査

（MIZ-1号孔：掘削長1,204 ㍍ 掘削中）

主立坑と換気立坑の掘削工事および調査（深さ約10～50 ㍍区間）

（主立坑：42.5 ㍍ / 掘削および調査が終了）

（換気立坑：45.5 ㍍ / 予定区間の掘削および調査が終了）

巻上機室の組立等の地上設備の設置作業

振動によって地下を調べる研究

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測および用地周辺井戸での水位観測

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

瑞浪国際地科学交流館の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「陶友会 陶芸展」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運び下さい。

【期間】9月1日～31日 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間 36-8

来月の主な作業予定(9月)

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業および調査（MIZ-1号孔）

主立坑の掘削工事および調査（深さ約10～50 ㍍区間）

巻上機室の組立等の地上設備の設置作業

振動によって地下を調べる研究

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測および用地周辺井戸での水位観測

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問、または瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡ください。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木,松浦,福島）